

# 平成30年度公衆衛生事業部研修会

【日時】平成30年12月15日（土）13:00～16:00 【参加者】33名  
【会場】にいがたユニゾンプラザ 女性団体交流室2（新潟市中央区上所2-2-2）

## 1 情報提供「新潟県小児肥満等発育調査の現状と課題」新潟市保健所 村井純子氏

当調査は平成10年度から開始し、平成24年度からは公衆衛生事業部事業として実施。乳幼児健診と学校健診の間となる3～5歳の肥満・やせの状況を把握するための貴重なデータとなっており、健康づくり・食育推進計画の評価指標として活用されている市町村もある。

保育園・幼稚園等、関係機関の協力の下実施できており、今後、調査結果の活用等について取組を進めていく必要がある。

## 2 事例発表①「加茂市における幼児食生活アンケートと体格調査の結果を活用した多職種協働による健康づくり活動」加茂市役所 鈴木良美氏

当調査で当市は県平均より肥満の出現率が高い傾向にあり、食生活等の実態把握を行い、客観的なデータを得て食育、栄養指導等が行えるよう平成25年度に幼児の食生活アンケートを実施。

結果、肥満児は朝食の主食に菓子パンを食べる、降園後に間食をする等が有意に高かった。

幼児の栄養改善のためには多職種と連携が重要であり、明らかになった課題を保育園長会議で周知し、取組を検討した。現在、保育士・保健師と連携した食育・個別指導等を実施している。

## 3 事例発表②「妙高市における小児肥満等発育調査を活用した取組について」妙高市役所 平原まゆみ氏

市食育指導計画、市こどもの肥満予防対策計画に基づき、幼児期から中学校まで一貫した食育指導を実施する体制としている。

平成24年度の市食育検討会で園長等と子どもたちの体格・食の課題から今後の取組を検討。園ですくすくカミカミプロジェクト、歳児別食育教室等を実施。

当調査の結果は、全保護者に個別におたよりでお知らせ。併せて肥満者には過去半年の体重変動についてもお知らせし、園長、園担当栄養士で個別指導を実施している。

市の肥満度15%以上の者の割合は平成23年度の5.6%から平成30年度は2.8%と減少し、県内20市中肥満者の割合が最も少ない結果となっている。

## 4 グループワーク

### 「新潟県小児肥満等発育調査を活用した生活習慣病予防の取組やネットワークについて」

5グループに分かれ、①当調査を活用した生活習慣病予防の取組（現在取組んでいること、取組んでいないこと、取組むためには何が必要か）、②組織として必要なことは何か（関係機関とのネットワーク等）を検討。多職種と連携した取組となるよう、園長会議での働きかけや個別の結果の還元方法等、情報交換を行いながら今後の取組を検討・共有した。

